



さいたま暮らしの情報誌
Information for Living in Saitama City
Folleto de Información de Vid en Saitama
No.65(Mar. 2019)

おお さいがい そな
大きな災害に備えて(1)

Preparing for a Major Disaster (1)

Para prepararse contra los grandes desastres naturales (1)

し ぜ ん さい が い お ぎ げ ん ち き こ え
自然災害が起きた現地で聞かれる声

お お も
「まさかここで起こるとは思わなかった」



Heard at the scene of a natural disaster:

“I never thought that it would happen here”

Lo que se dice en las zonas afectadas por los desastres naturales:

“¡Es increíble! Nunca hubiera imaginado que aquí ocurriría un gran desastre.”



はっこうもと こうえきしゃだんほうじん かんこうこくさいきょうかい こくさいこうりゅう
【発行元】 公益社団法人さいたま観光国際協会 (STIB) 国際交流センター
ばしよ しうらわくひがしたかさごちよう かい
場所：さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9階

【Published】 The Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB), International Exchange Center (IEC)

【Place】 9th floor of the Comunale Complex, Higashi Takasago-cho 11-1, Urawa-ku, Saitama City

【Publicado por】 Buró para el Turismo y las Relaciones Internacionales de Saitama (STIB)
Centro de Intercambio Internacional

【Domicilio】 Piso 9 de Comunale, 11.1 Higashi-Takasago-cho, Urawa-ku, Saitama

TEL: 048-813-8500 FAX: 048-887-1505 E-mail: iec@stib.jp URL: <https://www.stib.jp/kokusai>

「天災は忘れた頃にやってくる」と言われます。東日本大震災で私たちは、この言葉を思い出しました。あの惨事から8年経ちました。日本は防災について多くのことを学び、防災対策に取り組んでいます。2018年は、日本全国で地震・台風・大雨など多くの自然災害、災害級の酷暑があり、多くの犠牲者を出しました。また、水道・電気などインフラの被災により、日常生活を送るのが困難な被災者も多くいました。さいたま市は、今までも特に大きな災害に見舞われることがなく、「災害のない安全な市」で、「ここで、起るとは思ってもいない」と多くの方が考えているように思われます。

自然災害を止めることはできません。国や地方自治体が発信する、防災情報を得て被害を最小限に止めることが出来るようにするために、日頃から対策を考えておくことが大切です。

- 一番助けになるのは「遠くの親戚より、近くの他人」
- 備えあればうれいなし



- ・隣近所の日頃の交流、付き合いで助け合い、情報を得ることができる。
- ・自治会の加入(避難訓練などの参加)、避難所生活の助け合い。

市が発信している地域の災害に関する情報をHPで確認をする
地域の地勢・河川・予想される地震を知る

「さいたま市ハザードマップで検索」

<https://www.city.saitama.jp/001/011/015/002/003/index.html>

- ・防災カルテ 市内中学校別の問題をまとめてあり、地域の助け合いマップ作成に利用する。
- ・ハザードマップ
 - ① さいたま市浸水(内水)防災マップ
(英語・韓国語・中国語の多言語ページがあります。)
 - ② さいたま市土砂災害ハザードマップ
 - ③ さいたま市地震防災マップ ②③は日本語表記のみです。

自然災害を防ぐことは難しいですが、台風・大雨のように、予報などから、事前に安全な場所へ避難するなど、対策を講ずることができる災害もありますが、2018年の災害発生時においては避難勧告を受け入れ、避難所に避難した人々が少なかったとの統計もあります。

「災害大国」と言われている日本での暮らしには、毎日の生活の中で、



- ・緊急の時に相談できるコミュニティをつくっておく。
- ・緊急時のために必要なものを用意しておく。(各家庭の人数構成により異なります)

・どこに逃げれば良いのか、どこに避難すればよいのか調べておく。

日本人も外国人も各自が災害へ心構えと対策を持っていることが大切です。